

さ さ え あ い 通 信

社協HP



宜野湾市社会福祉協議会 地域福祉推進係

2021.9月号 (Vol.5)

〒901-2205 宜野湾市赤道2丁目7番地1号(宜野湾市社会福祉センター内) TEL(098)892-6525

地域のいいね!

今月のスポットは **普天間I区!!**



<普天間I区公民館前>

「地域の子」育て! ~宜野湾市子どもの居場所運営事業~

普天間I区自治会では、今年度より「子どもの居場所」がスタートしました! 公民館が「居場所」となり、地域のボランティアスタッフが宿題の見守りや軽食の提供、異年齢間の遊びをサポートします。中学生以上の子には、スタッフと一緒に下の子を見守ってもらい、時には地域のボランティア活動に参加してもらうなど、地域や人との関りを通して、子育てを地域で支え合う環境づくりを目指しています。

新垣隆自治会長は、「核家族化、共働きやひとり親世帯の増加など、頑張っている親や子ども達に『ひとりで抱え込まないで』『困った時は公民館へおいで』と伝えたい。」「子育てが『孤育て』にならないよう、親以外の大人が関わる機会が大事。」と話されていました。

去る8/31には「夏休み最終日! コロナに負けず2学期も頑張ろう!」をテーマに、公民館の玄関前で子ども達へお弁当を提供しました。

地域には、たくさんのお父さん、お母さん、おじい、おばあがいます!

「地域の子を地域で育てる!」ここでも支え合いの輪は広がっています。いいね  普天間I区!!



生活支援コーディネーターが行く!

密着!! 移動スーパーとくし丸

今年3月より、宜野湾市で運用が開始され、約半年が経過したとくし丸に密着し、市内6か所を視察してきました。ドライバーは、利用者の転倒などが無いよう常に目を配り、買いすぎる方には声をかけ「売りすぎません、捨てさせません」を心がけているそうです。

利用者からは「店が遠いので助かっている。」「自分の目で見て選べるのが嬉しい。」との声がありました。また、ドライバーや利用者同士のやり取りから、地域コミュニティーの一つになっていると感じました!

この日は普話に花が咲きました!



転倒防止を呼びかけよう!



長引く自粛生活で、高齢者の身体活動時間が大幅に減り、転倒リスクが高まっています。高齢者の転倒事故の多くは自宅内で起きているため、電源コードやカーペット、床に置きっぱなしにしている荷物や不用品がないかなど、今一度チェックを呼びかけましょう! また、玄関で靴を履く際に、前のめりに転落することもあり注意が必要です。

また、スーパーでの買い物中にも、滑る、つまづく等の転倒事故が起きており、鮮魚コーナーや冷凍ケース付近、雨の日などは特に気をつけなければいけません。商品に気を取られがちですが、床に置かれた台車や段差につまづかないように足元や周囲に注意を払うよう呼びかけましょう!

高齢になるにつれ、骨折などの治療が長引くケースが目立ちます。日頃から、意識して予防体操を心がけることも大切ですね!